

「あるもの探し」をテーマとする「させぼ港まちづくりスタジオ」。「よその街にあるから、うちの街にも欲しい」というような「ないものねだり」ではなく、今ある佐世保らしいものを見つけて个性的なまちづくりに生かそうとまちなかで活動を続けています。本紙平成19年6月号でも特集しましたが、学生たちが地元のみちづくりを真剣に考えてくれるのは本当に嬉しいこと。今回、その「あるもの探し」が「港まち歩きツアー」として実際に商品化されることになりましたが、彼らのこれまでの取り組みに心から感謝の意を表したいと思えます。▶今月号から新コーナー「〇〇課から〇〇の話」(P26)を連載することにしました。健康づくりや子育てなど、市民の皆さんの役に立つ、身近な話題を、分かりやすくお知らせしますので、どうぞ一読ください。(T)

元気な朝ごはんレシピ 魚部門アイデア賞
鮭と枝豆のどんぶり



電子レンジでの調理なので時間がかかりません。
 ●考えていただいた人
 中里佳樹さん
 (佐世保北高等学校1年・当時)

材料・4人分
 ごはん 600g
 塩鮭 8切(320g)
 酒 大さじ1
 枝豆(冷凍) 32個
 焼きのり 少々
 白ごま 少々

作り方
 ①塩鮭は酒をかけて、電子レンジで2分30秒加熱する。
 ②①を電子レンジから取り出し皮をとり、身をほぐしておく。
 ③枝豆を房のまま電子レンジで2分加熱する。加熱後、房から出しておく。
 ④茶わんにごはんを盛り、鮭と枝豆のをせ、刻んだのりと白ごまをかける。

●1人分の栄養価
 熱量458kcal、たんぱく質24.9g、脂質11.6g、塩分1.4g

市長日記 暴力団事務所買い取りにかかる募金のお願い

瀬戸越1丁目(大野地区)にある建物が突如、暴力団事務所として使用されることが判明し、地元住民の皆さんが平穏で安全なまちを取り戻すべく、暴力団事務所撤去運動に立ち上がられました。

昨年11月には裁判所による「暴力団事務所使用差し止め仮処分」の決定がなされ、その後相手側からも和解に応じる旨の回答がなされました。

この和解のためには事務所を買い取る必要があります。地元住民の皆さんは町内会で募金活動を始められるなど資金集めに懸命に努力されていますが、買い取り費用は多額になることが予想されており、地元だけではめどが立たない状況で、市に対して協力依頼がありました。

私は、市民の皆さんはもとより、市内のあらゆる企業や団体にもお願いして運動しなければ目的を果たすことができないと判断し、佐世保・早岐・相浦地区暴力追放運動推進協議会長や商工会議所会頭と協議し、官民一体となって募金活動を展開することにしました。

8月初めからこの募金活動を開始し、市民の皆さんからの温かいご協力をいただいているところですが、この取り組みがまだ十分に周知されていないこともあり、目標金額には程遠い状況です。

この問題は一部の限られた地域だけの問題ではなく、今後どこにでも起こりうる問題です。今、暴力団事務所を排除することができなければ、今後市全体にこのような問題が広がり、深刻な事態に陥ることも懸念されます。このようなことから排除活動は近隣に住む住民の皆さんだけに任せるのではなく、佐世保市民の総意を持って、一丸となって取り組むべき喫緊の課題であると考えています。

市民の皆さんには、どうかこの問題をご自身のこととしてとらえていただき、1口100円の募金にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

佐世保市長 朝長 則男

募金箱設置場所
 市役所本庁舎、各支所・行政センター
 ※地元の「大野・春日暴力団事務所撤去推進協議会」では銀行振り込みでも募金を受け付けています。
 【口座】九州ひぜん信用金庫大野支店／普通預金／口座番号0144356／名義大野・春日暴力団事務所撤去推進協議会 会長 江口敏夫

※写真は本庁舎玄関案内カウンターに設置している募金箱



歴史 散歩 第543回

青年団倶楽部の石柱・小島町

撮影・文・筒井隆義

西小島バス停に近い三差路から、俵ヶ浦方面に分かれる県道分岐点に小島町公民館があります。正面の石段を登り切った右側に、古めかしい砂岩の石柱があり「小島青年団倶楽部 寄贈 中野雄八」と彫り込まれています。

近所に住む川内延弘さん(八十四歳)に尋ねると、戦前活動が盛んだった青年団の集会所があり、現在の公民館は、倶楽部と呼ばれていた建物を、戦後民主主義導入と共に発足した公民館にそっくり転用したもので、ということでした。

「日本大百科全書」によると、明治四十三年(一九一〇)年に名古屋で全国青年大会が開かれ、これをきっかけにして「青年団」の名称が定着しました。目的は、古い時代から脱皮して文明開化を進めるため、青年に役割を担わせようと、文部省、内務省が訓令を出しました。

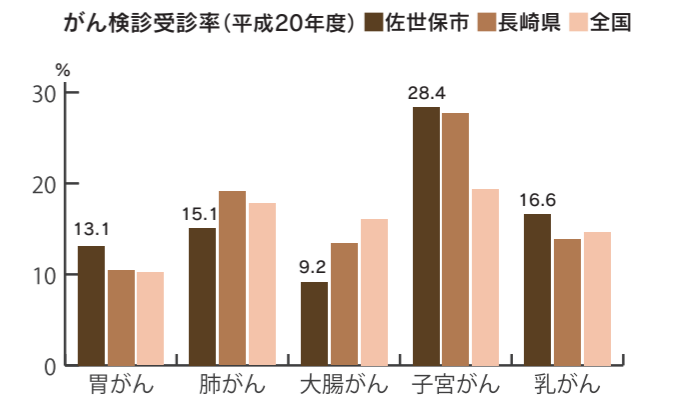
健康づくり課から
がん検診
 の話

佐世保市民の死亡原因の1位は、昭和54年以来「悪性新生物(がん)」が続いています。

生涯に、男性では2人に1人、女性では3人に1人が、「がん」にかかると言われており、これだけ多くの方が「がん」にかかっているのに、果たして皆さんは「私には関係ない!」「私は、がんにはならない!」と言い切れませんか?

運動や食事などの生活習慣に気を付けることで、がんになる可能性を低くすることはできても、残念ながら100%がんにならないとは言えません。

では、「がん」から身を守るための効果的な対策は何なのでしょう? 医療技術が進み、早期がんの治療法が確立した現在、有効な対策は何と言っても「がん検診」です。「がんは早く早期のものを見つけた者が勝ち」という時代なのです。それなのに、本市のがん検診の受診率は、特に肺と大腸がん検診で全国平均を下回る状況となっており、市民全体の平均受診率は19.2%にとどまっています。



早期のがんは症状がないことが多いため、何でもない時の検診こそが早期発見につながります。Let' Go がん検診! 市民一人一人が、みんなで声を掛け合ってがん検診を受診し、がんから身を守りましょう。

「がん検診を受けられる市内の医療機関」は、市のホームページで「佐世保市がん検診」と入力し検索すると一覧表を見ることができます。検診車による集団がん検診を計画している地域もありますので、実施予定など詳しくはお尋ねください。

健康づくり課 ☎24-1111